

平成22年度第4回さぬき市温泉施設等検討委員会 会議要旨(要約)

- 1 日 時 平成22年10月15日(金) 13:30~16:00
- 2 場 所 さぬき市役所3階301会議室
- 3 出席者[委員] 犬飼会長 谷副会長 堀井委員 安西委員 筑後委員
 山下委員 矢木委員 平野委員 頼富委員 井下委員
 藤井委員 江崎委員
- [(財)かがわ産業支援財団] 2名
 [施設管理公社] 真子局長
 [事務局] 吉原部長 六車課長 浅川副主幹 徳竹
 [傍聴] 9名
- 4 議 題 検討意見の集約について
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	【事務局挨拶】
(会長)	【会長挨拶】
(事務局)	施設の見直しに当たり、財団法人かがわ産業支援財団さんによる施設毎の経営診断と一定の方向性を示した提案が既に有る。当委員会は、市民目線によるご意見の場。市はこの二つの意見を目標設定の参考とする予定。
(会長)	お気づきのことが有れば、順番に意見をどうぞ。
(委員)	公社が管理する各施設長の意見を聞きたい。
(事務局)	本日傍聴の為施設管理公社の事務局長が来ており、説明させていただく。
(局長)	公社設立約7年経過、経費の削減及び営業努力を続けてきたが、来客数の減少が止まらない。現在は財団さんの報告書を基に改善計画を作成中。
(委員)	現在、提案に基づいて既に何か取り組んでいる事は有るか？
(局長)	今、システムの一元化に取り掛かっているところ。
(委員)	経費2千万しか落ちない。一方で例えばコンサル料・手数料が別途に必要。売上4割程UPが必要。給料は上げて良い。ただ、評価制度の変更必要。従業員の数と働く時間を調整、個々の時間給は異なって当然。皆同じでは変わらない。一番気になるのは会計システム。統合される予定はあるか。
(局長)	有る。
(会長)	やはり正確なデータが無いと経営判断をしにくい。足元固めをした方がいい。更に各施設長さんに何か伺いたいことがあるか？
(委員)	成績の悪い大串の施設長さんに伺いたい。こうなった極端な例として。
(委員)	造った場所が悪い。塩江の温泉で、部屋毎に売っている例が有ると聞いた。大串も同じようにしては？

(委 員)	温泉施設を止めた時点で全く手入れをしていない、使えないだろう。全てがそう。大串の管理長さんには、いい加減な事は止めてと言いたい。
(会 長)	糾弾や犯人探しをする会ではない。今後どうするかを聞いて良い答申ができるなら、もう一回会を延長して呼び出すことは可能。いかがか？
(委 員)	呼ばなくてもいい。話の内容は分かった。
(委 員)	クアタラソとカメリアの経営状況、施設への市の財源の持ち出しは？
(事 務 局)	カメリアの委託料は市から公社に対して支出がある。カメリアには一切出してない。修繕費の支出なし。ポーリングをメンテした事は一度ある。クアタラソの経営の内容は把握してない。単体では赤字と聞いている。
(委 員)	カメリアに対して固定資産税は徴収しているか？電気代等は？
(事 務 局)	市の資産なので固定資産税は徴収してない。電気代等はカメリアが負担。
(委 員)	みろく温泉で市直営の施設の管理運営も職員が担っている。割合はどれ位か？その部分を市は給料を払わず、公社が払っているのか。
(事 務 局)	宿日直分ということで委託料の中に計上している。
(会 長)	どう纏めるか、作成中の改善案を基に猶予期間と改善レベルをどう設定するか、上手くいかなかった場合、どうするか。について意見をどうぞ。
(委 員)	まず財団の方の提言書を参考に作成した改善案に基づいてどれ位改善できるか、その頑張りを待たずに廃止だという結論はおかしい。
(会 長)	ただ、成果の締め切りは作った方が良いのではないか。
(委 員)	公社が造った計画書に基づいて提言書を出してはどうか？
(会 長)	再建計画は各施設で作っているが、それを我々が判断した方が良いか？
(委 員)	それは市長が先頭に立った理事会で評価し、評議委員会で答申でも良い。
(会 長)	納税者・利用者としてどれ位の許容範囲で、どれ位の期間待っても良いか、という視点で良い。
(委 員)	スケジュールでは、今年度に結論を出すようになっていた。市に結論を出すのは待つて欲しいという答申でも良い。今年度中に改善案を策定、出来る事からやって。1年後には結論を出すことは可能。
(会 長)	今年度中早い段階で改善計画を出してもらい、少なくとも1年実行期間をみて、1年後の段階で改善具合から判断するべき。という事ですね。
(委 員)	2年3年も待つてはもらえないだろう。
(委 員)	毎年持ち出ししている4千万の内、1千万なりコンサル料を払ってプロを雇って見てもらうのも一つの手ではないか。
(会 長)	でも、一方でコンサルタントは結果責任を負わない
(委 員)	指導はしてくれる。その施設毎の魅力を見つけるのも早い。
(副 会 長)	ワインやサービスエリア等の施設が在るが、それを温泉も含め全て合併、一つに纏めて運営して再生したらどうか。
(委 員)	サービスエリア以外の施設は全部赤字。赤字の所を一括するより、個々

	の温泉だけを独立採算制にする方が寧ろスムーズに行くのでは。
(委 員)	赤字を毎年垂れ流すことは絶対許されない。でも、早急に決定はできない。減らず改善計画を作る。赤字 3 千万円位は福祉として認めてあげるべき。
(委 員)	私達はあくまでも福祉を前に出したい。
(委 員)	1 年という猶予期間は無いのではないか。テンポがあまりにも遅すぎる。
(委 員)	一度無くしたら再建は出来ない。後の問題もある。
(委 員)	一度止めた方が良い。置いておいたら管理費が掛かる。
(委 員)	6 千万位の赤字が、数年で 1 億越える。維持するのが精いっぱい。
(委 員)	止めてしまうのは本当に簡単。でも今直ぐに止めるのは・・・
(委 員)	全部止めると言っていない。4 つ残すのはどう算盤しても無理。
(委 員)	それなら財団さんが調査の中でもっと良い答えを出している筈。
(委 員)	市も財団さんをお願いしたのは、数字を見せないと納得しないから。
(会 長)	今ポイントは、どれ位の執行猶予の期間を与えるか、1 年なのか、3 年くらい待つのか、という所です。
(委 員)	行政は来年 3 月までと言っている。
(会 長)	やはり 1 年なら 1 年で答申はすべき。
(委 員)	私もその意見に賛成。血の出るような努力を施設長さんにしてもらい、1 年か 2 年は待たないといけない。
(会 長)	後が無いというシグナルとして数字的なものを示した方が、意味がある。
(委 員)	財団さんは報告書を出された後は、ご相談に乗っていただけるのか？
(支 援 財 団)	今日はボランティアで来ている。
(委 員)	これからは、要請がないとダメか？
(支 援 財 団)	もちろん、個人的には動けない。組織と組織で動いている為。
(委 員)	財団さんは実態を把握されている。1 年なら 1 年の期間の間指導、施設長さんの相談相手になってもらっては。
(会 長)	改善計画作成のアドバイザーとして入って頂くというのはあり。
(支 援 財 団)	事務局に相談しないとけない。
	今の売上をとにかく維持する努力が必要。一方で、根本的な構造改革をやらないと救えないという命題の元、具体的に何時から何時までにこうしたら？という提案を公社にしており、既に一部実行されている。
	計画を出せば実現出来る訳ではない。「出来なかった場合如何するか？」を決める必要がある。一人の市民が年間幾らまで負担できるか、月 1 回は絶対に施設を利用する等、ルール作りが出来るか。そこまでやれば夕張にはならない。
	また、病院・学校・足、これは完全に福祉。民業がやらない事を公が少々赤字を出してもやるのが福祉。決して温泉施設が福祉とは思えない。で

	も維持したいと言うなら、覚悟が必要。
(委 員)	お年寄りの皆さんが、1年に1度施設で同窓会をしたらどうか？
(委 員)	温泉、宿泊、レストラン、これ自体ある意味で民営を圧迫している。これが現実。それをよく考えて欲しい。
(委 員)	会長のところで纏めて欲しい。
(会 長)	纏めて、と言うより、こんな意見があった。という感じにしかならない。
(委 員)	止めるとか何とか言う前に、良い所も出してもらいたい。
(会 長)	大枠としては、取りあえず 4 施設共残せるものなら残したい。今の状況で何もせず残すという事はあり得ないが、市が提示する今年度中に売却・閉鎖を決定するのは早急すぎる。1年、2年、その間施設長や施設で働く公社の方々在必死になって頂く。という意味で期限を区切って改善提案を作って頂き、1年位実行して頂く。期限の時点で改善しなければ売却・閉鎖という可能性がオプションとして発動される。という大筋の議論でよいか？ 加えて以下のような意見があった。赤字を垂れ流すだけだから早く決定した方が良い。残して欲しい。町の誇り、それが在るからこそ良い。 大枠としては以上の議論で纏まった。という報告書を作る考え。他にこんな意見が反映されていないという意見が有れば。
(副 会 長)	体制を改革し外部から導入したトップを置いて 1 年間必死に職員を使って解決しないと。そこまで来ている事を、職員と市民に理解してもらい、「高松へ行かずに春日温泉に行こう」となれば少しは良くなる。これだけは付け足したい。
(委 員)	会長と副会長が言われた事が殆ど。これでやって欲しい。
(副 会 長)	それで纏めるか？
(委 員)	はい。(異議なし)
(会 長)	次の内容を文書に追加する。外部の民間的な経営の視点で経営を正常化出来る人に、トップダウン型で権限を与えてやっていただく方が良い。市民の方も問題意識を共有し、市の施設を自分が納税者であって、更には利益の受給者であるという意識をもっと持って使ってもらおう。これで文章を作成し、皆さんにコメントを頂くということに。
(事 務 局)	もし皆さんの都合が合えば、再度集まり委員会としての答申を纏めたい。
(事 務 局)	次回会議は 11 月 12 日(金)午後 3 時 00 分から。本日はご苦労様でした。